

施策5

学びを支える教育環境の充実

1 幼保小中一貫教育の推進（教育推進課）（子ども支援課）

● 事業内容

（1）多治見市型幼保小中一貫教育の推進

幼児期の学びから、運動習慣・学習習慣・生活習慣が身に付くよう、園・学校と家庭が連携して取り組みます。「めざす子ども像」実現に向け、幼児期から共通して取り組むことができるように相互理解を深めます。

担当課：子ども支援課
R5 予算額： -
R6 予算額： -

令和5年度取組・実績

<実施内容>

- ・公立保育園・幼稚園にて「体力アッププラン」を立案し、「いきいき運動遊び」と称して、毎朝体を動かす時間を位置づけ、楽しんで体を動かすことができる遊び方を工夫して実施しました。また、年1回の体力測定を実施し効果を確認しました。
- ・毎朝「いきいき遊び」を行うことで、短期的な集中力を育みました。
- ・「たじっこチャレンジ」※について家庭に周知し、家庭で取組める親子遊びの推進やノーテレビノーゲームデーの啓発、「成長の歩み」の確認などを実施し、子どもの成長や生活習慣について意識してもらうきっかけ作りをしました。



※習慣向上を図るための見取り図

<主要な事業費（R5年度決算額）>

なし

成果・効果

- ・散歩や思い切り体を動かす楽しい経験や遊びを通して、自分でやろうとする意欲の増進から体力向上だけでなく、生活習慣の確立や集中する力なども伸びてきました。
- ・子どもの生活習慣や親子での時間の過ごし方について、保護者の意識の向上がみられるようになってきました。

令和6年度取組予定

- ・「いきいき遊び」「いきいき運動遊び」を毎日継続します。
- ・「たじっこチャレンジ」を活用した発達段階に合わせた成果を目標とし、遊びと生活が密接に結びついていることを保護者に啓発し、家庭における親子運動遊びの推進を図ります。
- ・生活習慣の自立は、将来的な学習能力につながることや、「自分でやろう」とする意欲の向上、絵本の読み聞かせによる心の安定と豊かな想像力、言葉の習得など、日々の積み重ねが子どもの力につながることを、引き続き保護者に啓発していきます。

(2) 幼保小の架け橋プログラムに沿った幼保小の連携強化

幼稚園の教諭や保育士と小学校の教員が、互いの保育や教育を参観し合うことにより、成長の連続性を意識した教育につなげます。また、「幼保小の架け橋プログラム」を基に、幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行や発達段階に応じた学びを推進します。

担当課：子ども支援課
R5 予算額：－
R6 予算額：－

令和5年度取組・実績
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭や保育士が小学校教育を参観、または小学校教員が幼稚園・保育園を参観し、懇談することで、良さを認め合い発達段階による指導や相応しい連携について学びました。(年3～5回) ・幼稚園・保育園の年長児と小学生との交流を実施しました。(年1～2回) ・年長児の様子を小学校教員が参観および引継ぎを行い、園児や保護者の不安を取り除きスムーズな就学となるよう連携しました。 <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <p>なし</p>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> ・園生活と小学校生活との違いを少しずつ埋められるよう、それぞれの段階で必要な子どもとのかわり方や連携を知ることができました。
令和6年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の架け橋プログラムについて継続して実施します。

(3) 学びの連続性や系統性を重視した小中一貫教育の推進

小学校と中学校の9年間で一貫した学びを実施し、学習面や生活面での環境の変化を低減するため、中学校区を単位として小中学校の連携推進を図ります。令和8年度開校する笠原小中学校のカリキュラム編成や特色ある教育の推進を図り、その成果を他の学校の一貫教育につなげます。

担当課：教育推進課
R5 予算額：2,113千円
R6 予算額：1,190千円

令和5年度取組・実績
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠原小中学校の開校に向けて、教育委員会事務局、笠原小・中学校の関係者が集まり、分野ごとのWGでソフト面についての検討を重ねています。校長WGでは、教育目標や特色ある教育活動等について、教頭WGでは、PTA活動や学校運営協議会等について、教務WGでは、日課やカリキュラム編成等について、生徒指導WGでは、制服や通学路等について検討しています。 <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会5回開催、視察1回 委員謝礼 240千円 ・笠原小中学校校歌作詞謝礼・校章委託費 394千円
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> ・WGを定期的（2～3か月に1回）に開催することで、笠原小・中学校の連携推進を図ることができ、開校における下地づくりを行うことができました。
令和6年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度笠原小学校が笠原中学校の敷地内の仮設校舎に移転することに伴い、小・中学校の時間割のうち、朝活動、1・3時間目、昼休み、掃除の時間については開始時刻を揃えます。

● 計画の成果目標

笠原小中学校の開設に向けた進行状況		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
実施計画の立案	実施計画に基づいて進行	実施計画に基づく開校（令和８年度）

幼稚園の教諭や保育士と小学校の教員が保育や授業を公開し、合同研修会を実施		
基準値（令和４年度）	現状（令和５年度）	目標（令和９年度）
－	３～５回／年	１回／年

2 教職員の働き方改革の推進（教育推進課）

●事業内容

(1) 教職員のゆとりある学校生活の推進

学校行事やカリキュラム編成の見直しを図り、教職員が年間を通してゆとりある学校生活を送ることができるようにします。その結果、教職員が日常生活にゆとりをもち、公私ともに充実した生活を送ることをめざします。

担当課：教育推進課
R5 予算額：209 千円
R6 予算額：199 千円

(2) 教職員の心身の健康維持促進

教職員が子ども達と元気に笑顔で接するために、教職員のメンタルヘルスケアに努めます。メンタルヘルスチェックを年1回実施します。

令和5年度取組・実績

<実施内容>

- ・保護者との良好な関係づくりを目的に教員コミュニケーション研修を実施しました。
(令和5年8月2日開催)
- ・教職員ストレスチェックを実施したところ、昨年度より0.6%実施率は向上し95.4%でした。病
気休暇・育児休暇の教職員は実施できないため、100%の実施は難しくなっています。
(実施期間：令和5年7月10日～令和5年7月23日、対象者数：483人、回答者数461人)
- ・高ストレス者の割合は、12.15%となり1.89%増加しました。
全国と比較して高ストレス項目
心理的な仕事の負担（量）、心理的な仕事の負担（質）、自覚的な身体的負担度
全国と比較して低ストレス項目
職場の対人関係上のストレス、働きがい、上司からの支援

<主要な事業費（R5年度決算額）>

保護者との良好な関係づくり研修	100千円
教職員ストレスチェック事業	48千円
メンタル相談業務委託	6千円

成果・効果

- ・ストレスチェックの項目ごとの割合をそれぞれの学校に還元することにより、後期以降の学校
運営に生かすことができました。
- ・高ストレス者で病院への受診を希望する教職員については、教育委員会の担当者からの連絡で
受診できることを周知し、受診につなげました。

令和6年度取組予定

- ・全体的に仕事の「量」・「質」ともにやや負担を感じながらも、上司からの支援を受け、それぞ
れの良さを生かしながら働きがいを感じている教職員が多い傾向にあります。また、小学校に
おいて40代の男性の「自覚的な身体的負担度」が悪い結果となっていることから、校務的な負
担が大きいと推測されるため、課題として捉えていきます。

(3) サポートスタッフ及び地域人財の活用

様々な分野において専門性を持つサポートスタッフであるICT教育推進員、キキョウスタッフ、スクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフ等の活用を図ります。また、地域人財の支援を活用し、教職員の業務削減を図ります。

(4) ICTを活用した業務の効率化の促進

業務の効率化を図るため、ICTを活用した業務改善を推進します。会議資料、校報、学級通信等のペーパーレス化を促進します。

担当課：教育推進課
R5 予算額：1,715 千円
R6 予算額：1,455 千円

令和5年度取組・実績	
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育推進員4人、キキョウスタッフ43人（小学校38人、中学校5人）、スクールサポートスタッフ17人（各校1人、2校兼務4人）を学校に配置しました。 ・スクールソーシャルワーカーは、週に1回各学校を巡回し、問題を抱える子ども達の置かれた環境への働きかけや関係機関へのネットワークの構築などに努めました。 ・地域人材を学習サポーターとして活用しています。小学校では、主に総合的な学習、クラブ活動、生活科等の授業を支援、中学校では、選択音楽の指導、国際交流の学習支援を行っていただきました。謝礼として、1時間あたり500円の図書カードを渡しています。（使用枚数1,370時間） <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動支援者謝礼品（図書カード） 700千円 ・人件費は人件費課で計上 	
成果・効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野において専門性を持つ職員の活躍により、教職員の超過勤務を削減することができました。 	
令和6年度取組予定	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教科書の採択替え（4年ごと）に伴って教師用デジタル指導書を購入する予定としています。 	

● 計画の成果目標

月の超過勤務時間が80時間を超える教職員の人数（延べ人数）		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
44人 （令和3年度結果）	7人	0人

ストレスチェックの実施率		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
94.7%	95.4%	100%

3 安心・安全な教育環境の確保（教育総務課）

●事業内容

（1）笠原小中学校の建設

老朽化の進む笠原小学校の建替えに際し、笠原中学校と併せて義務教育学校として「笠原小中学校」を建設します。

担当課：教育総務課
R5 予算額：369,848 千円
R6 予算額：2,124,638 千円

令和5年度取組・実績

<実施内容>

- ・幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者向けにチラシ配布等により周知しました。（4月、5月）
- ・条例改正により正式に『笠原小中学校』の名称となりました。（9月）
- ・建築の実設計が完了しました。（11月）
- ・小学校の解体に伴い、仮設校舎を借り上げ中学校の敷地内に建設をしました。（1月）
- ・小学校の仮設校舎への引越しを実施しました（3月）

<笠原小中学校イメージパース>



<主要な事業費（R5年度決算額）>

- ・仮設校舎借上料 160,964 千円
- ・設計委託料 33,035 千円
- ・仮設校舎引越委託料 5,060 千円

成果・効果

- ・保護者向けのチラシ内に、アンケートフォームの URL を掲載し、建設工事等の意見や質問を募集しました。
- ・寄せられた意見や質問について事業実施の参考とするとともに、回答を保護者向けに展開した他、ホームページにも掲載しました。
- ・建設工事に向け、設計業者・小中学校・関係機関と綿密に打合せを実施しました。

令和6年度取組予定

- ・年度当初に業者を入札で決定し、夏頃から小学校の解体工事と小中学校の建設工事を始めます。
- ・工事の進捗状況を随時ホームページ等で情報発信します。

(2) 学校施設の更新計画の検討（学校施設整備計画の見直し）

建替えや長寿命化など学校施設の更新を計画的に進めるため、次期建替え校や長寿命化実施方針の策定など、学校施設整備計画を見直します。次期建替え校の選定後、新校舎建設に必要な整備基本構想の策定に着手します。また、長寿命化に必要な整備メニュー、事業の実施順位など整備手法を策定します。

担当課：教育総務課
R5 予算額：－
R6 予算額：－

令和5年度取組・実績
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年に策定した、学校施設整備計画が計画期間の満了を迎えるにあたり、国・近隣自治体の動向、市全体の公共施設整備方針も踏まえ次期の整備計画を策定しました。（3月） <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <p>なし</p>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の管理担当課と共同して計画を作成しました。 ・整備計画の期間は、市の政策を定める最上位計画である「総合計画」、「公共施設適正配置計画」と連動させて実行できるよう引き続き4年間としました。
令和6年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・築年数が40年を超過している施設が多くなっていることから、建替や大規模修繕の具体的な整備時期や整備内容を引き続き検討します。

(3) 学校施設整備計画に基づく長寿命化、大規模改修事業の推進

今後の学校機能に必要な機能・設備等を見据え、中長期的な視点で施設の維持管理を進めます。市の公共施設全般に係る計画・施策とも整合を図りながら、学校ごと・改修部位ごとに整理した「個別保全計画」に基づいて、計画的に改修事業を進めます。

担当課：教育総務課
R5 予算額：小 253,922 千円
 中 148,834 千円
R6 予算額：小 301,370 千円
 中 384,210 千円

令和5年度取組・実績
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 25 件、中学校 18 件の大規模改修事業を実施しました。 ・次年度の大規模改修事業を、個別保全計画・学校ヒアリング・現場確認の結果をもとに決定しました。（8月） <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・根本小学校南舎2・3階等南側建具取替工事 71,040 千円 ・市之倉小学校プール槽補修工事 15,400 千円 ・多治見中学校ウッドデッキ補修工事 26,400 千円 ・北陵中学校普通教室・屋内運動場照明設備取替工事 17,600 千円
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間に集中して工事を実施することで、児童生徒の授業や活動に影響が出ないよう配慮をしました。
令和6年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 18 件、中学校 23 件の大規模改修事業を実施します。 ・施設の老朽度合いや学校のヒアリング等により保全計画の見直しを実施します。

(4) タブレット端末の更新

学校ICT環境整備計画に基づき、ICT環境を活用した教育環境を整備します。

担当課：教育総務課
R5 予算額：249,914
R6 予算額：64,563

令和5年度取組・実績	
<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省によるGIGAスクール構想（第2期）を見据え、タブレット端末の更新に向け情報収集しました。 ・ICT環境の整備更新事業として、シンクライアントシステム等サーバを更新しました。 ・ICT環境の維持管理事業として、学校ネットワーク業務運用保守事業など委託事業を行いました。 <p><主要な事業費（R5年度決算額）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンクライアントシステム等サーバ更新事業 185,683千円 ・学校ネットワーク業務運用保守事業などの委託事業 30,533千円 	
成果・効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境の整備更新・維持管理を適正に実施しました。 ・文部科学省の補助金を活用し、タブレット端末の更新を令和7～9年度に行う予定です。 	
令和6年度取組予定	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も引き続きタブレット端末の更新に向け情報収集します。 ・引き続きICT環境の整備更新・維持管理を適正に実施します。 	

● 計画の成果目標

（仮称）笠原小中学校の建設		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
基本・実施設計	実施設計	完成（令和7年度末）
学校施設整備計画の見直し		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
—	整備計画の更新	次期建替え校の決定及び建設検討委員会による整備基本構想の策定
大規模改修事業の実施		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
大規模修繕工事の実施、これを踏まえた個別保全計画の更新	大規模修繕工事の実施、これを踏まえた個別保全計画の更新	学校施設整備計画を踏まえた個別保全計画の更新、大規模改修事業（長寿命化、大規模修繕工事）の実施
ICTを活用した教育環境の整備		
基準値（令和4年度）	現状（令和5年度）	目標（令和9年度）
タブレット端末を整備	タブレット端末の更新に向け情報収集。	タブレット端末を更新（令和7～9年度）

